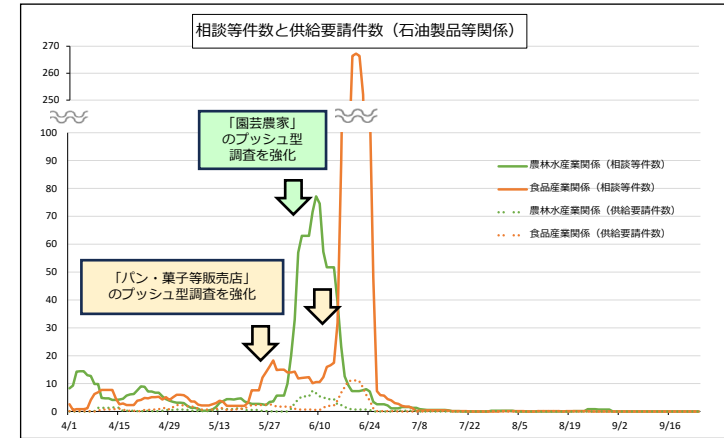
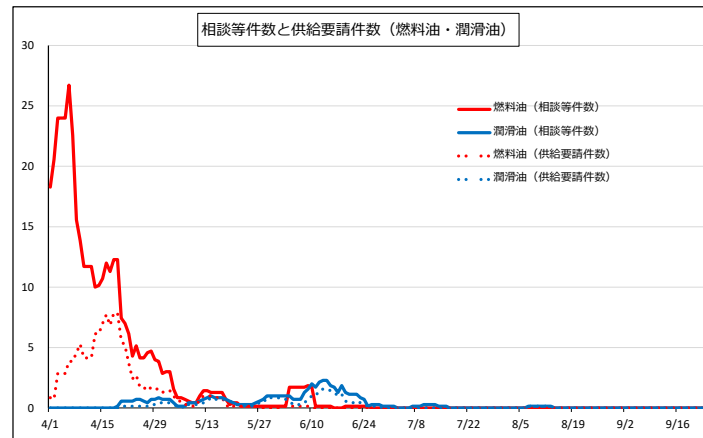


- 燃料油やナフサ由来の石油製品等に関する相談等件数及び供給要請件数は9月に入ってからごく少数で推移。
- これまでに農林水産省に寄せられた供給要請については、全件の対応を完了。
- 引き続き、主要な資材について、主要な事業者からの定期的な聞き取りを実施するなど、継続的な現場実態の把握に努める。

1. 相談件数等の推移

- 7月以降、燃料油やナフサ由来の石油製品等については、相談等件数、供給要請件数ともに少数で推移。
- 9月に入ってから新たに寄せられた相談件数はごく少数（石油製品2件のみ）。
- これまでに寄せられた計346件の供給要請については、全件の対応を完了。

【相談等件数と供給要請件数の推移】



※ 相談等件数は、7日間移動平均の推移（件/日）（4/1 - 9/24（9/24までの件数を上記グラフに反映））
供給要請件数は、相談等件数のうち、具体的な物資について目詰まりの解消を求めるものの件数（将来の供給に関する懸念や情報提供等は含まない。）

【対応の状況】	相談等件数	4,338件
	うち供給要請件数	346件 （燃料油等 75件、石油製品 271件）
	うち対応完了件数	346件 （9月24日時点で全件の対応を完了）

2. 実態把握の取組

- 食品産業関係の業界団体・事業者と事務局（農林水産省・経済産業省）からなる食品容器包装等情報交換会をこれまでに4回開催。団体・事業者からは、春頃のような資材の逼迫は生じていないが、今後も継続的にナフサ等の供給情報を共有してほしい、などの声。
- 引き続き、農林水産業・食品産業で使用する主要な資材について、主だった事業者からの聞き取りを定期的実施するなど、継続的に現場実態の把握に努める。